

### こすど温泉健康センター「花の湯館」に 松の銘品を寄贈

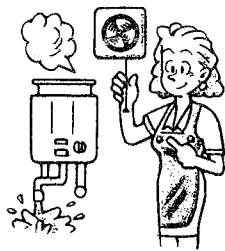
五十嵐 誠さん(うでこき2)

イカ農園々主、五十嵐誠氏(うでこき2)から石付け五葉松の大型盆栽の銘品が「花の湯館」に寄贈されました。  
この盆栽は五十嵐さんが約30年位前に自分で接木をした苗木を石付けにして育成して来た作品で、重さが300kgもあります。  
8月16日に、感謝状が町長から五十嵐さんに贈られました。  
さっそく「花の湯館」の入口に展示しましたので、温泉に行かれた際にはこの銘品をぜひご覧ください。

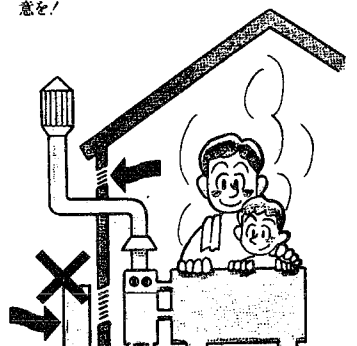
## ガス安全使用 強調運動

9月1日～11月30日

小型湯沸器を使うときは、必ず換気扇を回しましょう。



排気筒と給気口がついているか、確認しましょう。  
給排気口は、必ず開けてご使用ください。  
特に冬場は寒いのでしめ切ってしまうがちです。ご注意ください。



給排気口付近をふくむかたちで、物を置かないでください。

日頃なにげなく使用しているガスも、寒くなるにつれてだいに多く使われるようになっていきます。  
ガス安全使用強調運動は、そのような時期をひかえて、ガスの正しい知識、安全なガス設備器具に対する理解を深めていただく為の運動です。  
九月一日から十一月三十日までの三ヶ月間、各種チラシの配布、イベントの開催を行います。  
この機会に毎日使っているガス器具、給排気設備を点検し、長年使用しているガス器具については新しいガス器具にお取り替えをお勧めいたします。

ピーポー・ピーポー。毎日のようにサイレンを耳にするくらい、日常的になっている救急車の出場。これはどこかでケガ人、病人が発生していることを意味しています。

毎年九月九日を「救急の日」として救急業務に救急医療に理解と認識を深めてもらうべく、昭和57年に制定されたのですが、その間、救急業務は大きく変化してきています。

最近では交通事故での出場よりも急病での出場が、はるかに多くなっています。白根地区消防本部管内の平成6年中の出場をみましても、全出場件数の約半数が急病となっております。また、

## 9月9日は 救急の日...

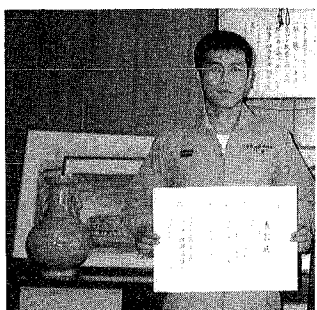
急病のうち42パーセントが循環器系の疾患となっております。これは高齢化の進展、生活様式の変化等によるものと考えられています。

このような状況を踏まえ白根地区消防本部では、高度な処置が行える救急救命士の養成を始めとし救急隊で使用する資器材の整備を進めています。更に「医療の空白時間」における応急手当をその場に居合わせた人に施してもらおうべく講習会なども積極的に実施しています。機会をとらえて参加されてはいかがでしょうか。

ところで消防署が休日・祭日の医療機関での診療について情報を提供していることをご存じですか？「025-373-3400」でテレホンサービスを行っています。また、急な発病で救急車を呼ぶまでも無いけれど、時間外でどこで診てもらえるかなどの場合は「025-372-3111」に照会してください。  
小須戸町における平成七年七月末日現在の出場件数は一〇一件、搬送人員は一〇七人です。

## 全国消防救助 技術大会 出場

加藤 敏昭 さん



白根地区消防署小須戸分署勤務の加藤敏昭さん(蔵町三丁目)が消防救助技術大会のロープ登はんの部で、県大会、東北地区大会で優秀な成績で一位となり、東北地区代表として、八月二十五日に北九州市でおこなわれた全国大会に出場しました。  
競技の結果、見事、入賞に輝きました。おめでとうございました。  
今後ますます消防救助技術の向上に努め、地域住民の生命財産を守ることを任務に、一層の精進が期待されます。

## 20才になりました...



今年14名が成人式を迎えました。おめでとうございます。出席者は100名で、例年になく静かで行儀の良い式だったようです。でもやっぱり、終わってからはにぎやかでした。20才の感想は、「成人になったというより、みんなと久しぶりに会えたことが嬉しい」ということで、式が終わるとすぐに二次会へと散っていききました。



## イワシ

うつくしや鰯の肌の濃さ  
薄さ 小島政次郎

イワシは秋が旬で、秋の季語です。イワシとは、マイワシ、ウルマイワシ、カタクチイワシなどの総称ですが、普通はマイワシを指します。

最近、日本では漁獲高が減ってはいるものの、二位のサバ類を大きく引き離して断然トップの一位です。それでも足りないのが、日本はイワシの漁獲高が世界一のペルー(日本は二位)などから輸入しています。では、日本人はイワシをたくさん食べているのかというと、食用は数パーセント。そのほかは、釣りのえさや養殖魚の飼料、肥料などに使われています。

イワシは、塩焼きや干物、なますなど、さまざまな料理ができる「大衆魚」です。そのためでしょうか、ことわざ

にもよく登場します。「鰯の頭も信心から」は、よく知られていますね。節分の夜に、イワシの頭をヒイラギの枝に刺して門口に置くと、悪鬼を追い払うという風習があったりしたことからいわれた言葉です。「鰯網で鯨を捕る」は、意外な収穫を幸運を得ることのたとえです。

秋は、イワシ雲(巻積雲)がよく見られる季節でもあります。イワシ雲が出ると、イワシがよく捕れるという言い伝えもあります。

九月は、「健康増進普及月間」です。健康には、運動、休養、食生活のバランスが必要で、秋の食卓に、食生活の健康増進の一つとして、健康食品といわれている魚の代表・イワシを取り入れてみてはいかがでしょうか。

